

朝夕の涼しさに秋を感じる今日この頃。このまま秋になって欲しいと思うのですが、まだまだ残暑は厳しそうです。夏の疲れが出るこの時期、体調を崩さないよう気をつけましょう。

合宿中止のお知らせ

8月11日に、合宿(10/17・18)の実行委員会を開催したところ2名しか集まらず、会として不成立となりました。昨年は、委員3人で何とか合宿にこぎつけたものの、今年はいっそう難しい状況でした。会長・副会長にお伝えしたところ、「会員の意識が高まるまで中止もやむを得ない」との回答をいただき、残念ながら中止することにいたしました。前実行委員長としましては、会員の皆さまのご協力を切に願います。

会計係からのお知らせ

会費を、以下のいずれかの方法で9月末までに納入してください。

- 1)6月号会報に同封の振込用紙を使って郵便局で振り込む
- 2)長谷川楽器店に預ける(6月号会報に同封の振込用紙を必ず一緒に持って行ってください)
- 3)会計係(山本恵理さん)宛に現金書留で送る(山本さんの住所は下記を参照のこと)
- 4)会計係(山本恵理さん)に直接手渡す

会費に関するお問い合わせは山本恵理さんをお願いします。なお、振込用紙を紛失した場合は、郵便局備え付けの振込用紙を使って下記の口座に振り込んでください。

- 1)振込先口座:岡山フルートの会 口座番号:01210-1-16893
- 2)山本恵理さんの住所:〒701-2142 岡山市北区玉柏2223-7
- 3)山本恵理さん 090-1684-3149 PCアドレス:yamaeri@coral.plala.or.jp

第31回岡山フルートの会演奏会第1回実行委員会

9月15日(火)の7時30分から長谷川楽器3階ホールで第31回岡山フルートの会演奏会の第1回実行委員会を開催します。実行委員を希望される方はお集まりください。

岡山学生フルート・コンクール

第12回岡山学生フルート・コンクールを、9月22日(火・休)に、シンフォニーホールの「イベントホール」で開催します。詳細は、7月号会報の参加要項をご覧ください。また、実行委員を希望される方は、コンクール実行委員長の安達さんにご連絡ください。

お問い合わせ:安達さん(090-8993-8543) flutekid555@hotmail.com

チャレンジコンサート実行委員を募集！

第17回チャレンジコンサートを、11月3日(火・祝)に、就実学園「なでしこホール」で開催します。現在、実行委員を募集しています。実行委員を希望される方は、能勢さんにご連絡ください。
お問い合わせ：能勢さん(090-8991-3711)

パスワード変更のお知らせ

岡山フルートの会専用掲示板のパスワードが9月10日から以下のように変更されます。

totoro momo

演奏会情報

第28回 Western Piano によるチャリティコンサート

日時：9月26日(土)18:30 開演(18:00 開場)

会場：岡山市立オリエント美術館

入場料：2,000円 学生/1,000円 小学生/500円

曲目：四季のぼぶり から“秋”/中山育美, 仮面舞踏会 から“ワルツ”/ハチャトゥリアン 他

出演：安達雅彦さん, 熊瀬 好さん, 野崎 愛さん, 原田浩征さん, 有田昌恵さん(ピアノ)

フルートアンサンブル「ローザ」音楽桃源郷 音のワルツ

日時：10月3日(土) 18:30 開演(18:00 開場)

会場：岡山テルサホール

入場料：一般 2,000円 学生(大学生以下)1,000円 当日(一般・学生)：2,500円 (未就学児無料)

ゲスト：中川雅子(創作舞踊)

出演：小池かほるさん, 堺 由美さん, 宮尾紀子さん, 野崎 愛さん

フルートの会会員の方は、チケット(一般)を 1,500円 で販売いたします。長谷川楽器店で販売しておりますので、ご購入の際はフルートの会会員であることをお申し出ください。

「おてライブ」

日時：10月18日(日) 16:00 開演(15:30 開場)

会場：具足山「妙本寺」(岡山県加賀郡吉備中央町北 1501)

入場料：一般 1,000円 学生 500円 (未就学児無料)

曲目：ジムノペディ第1番/サティ, ポレロ/ラベル, エトピリカ/葉加瀬太郎 他

出演：宮尾紀子さんとジャズ・ピアニストの工藤 隆さんによるお寺でのライブです。

お問い合わせ：具足山妙本寺 0866-55-5012 Ruhe(ヤマセイ工業内) 086-284-1170

星っさんコーナー(その46)

「ガロワのファンタジー」

顧問 星島明郎

何ヶ月も前から楽しみにしていた「第14回日本フルートコンベンション2009」の3日間が終り、昨日帰岡して興奮冷めやらぬまま、この原稿を書いています。各種コンクール、世界の超一流のフルーティスト達によるリサイタル、公開レッスン、あらゆるフルート音楽に関する貴重な講演、各楽器メーカー

の展示やデモンストレーション等々、全てを吸収してやろうと駆けずり回った忙しい3日間でしたが、今日はその一つだけ、私の最も感動したリサイタルを一つご紹介したいと思います。それはフランスの名手パトリック・ガロワによる「無伴奏リサイタル」です。実はこのリサイタルの時間帯が、岡山フルートの会と香川フルート友の会の合同アンサンブルの出演時間とぴったり重なってしまっていて、出演者のメンバーには誠に申し訳なかったのですが、私が代表してリサイタルの方を聴かせていただきました(このリサイタルは途中入場も途中退場も許されない演奏会だったものですから、フルートの会の皆さんの演奏を聴くことが出来ず、大変申し訳ありませんでした)。

ガロワについては、岡山フルートの会会報 124 号の星っさんコーナー(その 43)で少し触れておきましたが、以前 30 歳代で来日した頃と比べてその風貌のあまりの変化に先ずはびっくりしました。すらりとした貴公子然とした若き日のガロワが、53 歳となった今、堂々たる大柄の身体をブルーのシャツと、良く似合う明るいグレーの上下スーツに身を包み、これまた豊かなシルバーグレーの長髪をなびかせながらステージに現れたとき、もう、これから始まるとうする演奏のすばらしさを予測するように、割れるような拍手が沸き起こりました。まさにトランプのジャックがキングに変身して登場したような感じすら覚えました。会場が静かになるや演奏が始まりました。大きな四角いトーンホールのカップが鍵盤のように並んでいる珍しい黒い木管の楽器が、時に静かに時に激しく鳴り響きます。会場の自然色の照明が、一曲ごとに曲の性格に合わせて明るくなったり暗くなったり、計算されたように演奏の効果をいやが上にも高めます。時代的背景を意識してか、ピブラートを最小限に抑えた木管楽器特有の豊かな柔らかい響きが心地よく、早いダブルタンギングはパチパチはじける様な音を立てて駆け抜けていきます。全 12 曲で 1 時間はかかる「無伴奏ファンタジー」、全て暗譜でした。その 1 時間の間、彼は一人テレマンの世界に入り込んで、他の何者をも寄せ付けない威厳に満ちた圧倒的な演奏でした。まさにフリードリヒ大王が居る家臣や貴族達を見下ろしながら、他の雑事を全て忘れて音楽の世界に没頭しているような錯覚をしてしまいました。途中一度だけ楽器の接続部分はずして、ガーゼを通す場面がありましたが、他は全て全 12 曲が一つの大きな物語のように語り継がれ、聴衆を強く惹き付けたままの 1 時間でした。途中入場、途中退場を一切認めない厳しさは、まさに最後まで緊張感を絶やさない、ガロワのしたたかな芸術観なのだと納得しました。12 曲目、最後のト短調のプレストが終わると一瞬照明の全てが落とされて真っ暗闇。次の瞬間まぶしくライトアップ。中央に仁王立ちの大王がいた。そして嵐のような拍手に包まれました。本当に憎い様な演出。

アンコールは、涙の出そうなドビュッシーの「シリクス」。笛一管での、このような感動を味わったのは久しぶりの事でした。

演奏会情報は野崎さんに連絡してください MegMegO_Ov@yahoo.co.jp

会報係チーフが野崎さんに交代しましたので、連絡先(メール・アドレス)が変わりました。

【会報の封筒詰めのお知らせ】

10 月号の会報の封筒詰めを、10 月 6 日(火)午後 7 時から長谷川楽器店 3 階ホールで行います。会員の皆さまには、是非、封筒詰めのお手伝いをお願いします。